

地域母子保健福祉情報紙 No.283

公益社団法人 母子保健推進会議

親子保健

お や こ ほ け ん

定款第 1 章第 3 条 目的（抜粋）
国及び地方自治体
関係諸団体と連携協力して
母子保健の重要性を啓発し
母性の健康を守り たかめ
心身ともに健全な児童の
出生と育成に寄与してまいります

「令和5年度 健やか親子21全国大会（母子保健家族計画全国大会）」開かれる



全国大会式典であいさつする佐藤会長

「健やか親子21全国大会（母子保健家族計画全国大会）」が昨秋11月9日（木）・10日（金）、「親子の笑顔が明るい未来をつくる！～すべての親子が笑顔でいられる社会を目指して～」をテーマに、栃木県総合文化センター（栃木県宇都宮市）を会場に開催された（主催：こども家庭庁・栃木県・宇都宮市・恩賜財団母子愛育会・日本家族計画協会・母子保健推進会議）。大会ではまず式典が行われ、長年地域で母子保健の向上、こどもの健やかな成長のために尽力してこ

れた方個人・団体に対して内閣府特命担当大臣表彰ほか、各主催団体の会長表彰が行われ、母子保健推進会議会長表彰としては、個人48名、3団体を表彰した。

父親支援は父親目線で

続く特別講演では、国立保健医療科学院疫学・統計研究部

長、上原里程先生が「成育医療等基本方針を踏まえたこれからの母子保健～父親支援を考える～」をテーマに講演した。

積極的に育児をしている父親の割合は平成25年度では50.0%、令和2年度では65.8%（最終目標70.0%）と増加傾向であるが、一方で、父親の産後の抑うつも増えており、日本小児科学会の調査によると22%の父親が「気分が落ち込んだり元気がなくなる、あるいは絶望的になってしばしば悩まされたことがある」と回答していた。対策として、自治体では、

両親共に参加しやすい両親学級の日程設定、出産や子育てに悩む父親に対する支援の推進、男性育休の取得促進に取り組む必要がある。

親子の支援は

バイオサイコソーシャルの視点で

2日目の午後には、「関係機関の顔の見える連携～親の不安に地域で寄り添う体制づくり～」をテーマにシンポジウムが行われた。第I部では、基調講演として本シンポジウムのコーディネーターでもある小児科医の秋山千枝子先生が「切れ目のない支援に向けて～バイオサイコソーシャルの視点～」をテーマに講演した。

健康状態は、個人を取り巻くバイオサイコソーシャル（身体・心理・社会）の相互作用によってもたらされることが国際的なコンセンサスとなっている。経済協力開発機構（OECD）加盟38か国におけるこどもの健康状況の国際比較で日本

本会議 原澤 勇 理事長逝去

公益社団法人母子保健推進会議 理事長 原澤勇が、病氣療養中のところ、令和5年12月6日、逝去いたしました。生前のご厚誼に、深謝申し上げます。

* 次号で特集を組む予定です。

INDEX

「令和5年度 健やか親子21全国大会（母子保健家族計画全国大会）」開かれる … 1～5
妊娠期からの切れ目のない支援は信頼関係の構築とプラス1歩の工夫から

紙上セミナー：8020の里づくり「乳歯の萌出時期と咀嚼の発達」 …… 6～7

優れた「母子保健地域活動ノート」「母子保健推進手帳」／編集帖 …… 8